

医療メディアから共創プラットフォームへ — OMO 時代の到来

The concept of OMO has evolved a medical information website into a medical co-creation platform

井上 祥

Sho Inoue

株式会社メディカルノート

KEYWORDS

- OMO
(Online Merges Offline)
- PerFM
(Person Flow Management)
- 医療メディア
- 医療情報発信
- 共創プラットフォーム

IoT(Internet of Things), そして IoMT(Internet of Medical Things)などの考え方が広まりつつある中で, 身近にある様々な「モノ」がインターネットに接続され始めている。オフラインとオンラインの世界が融合される OMO(Online merges Offline)というコンセプトも広まりつつある。メディカルノート(<https://medicalnote.jp/>)は「医師と患者をつなぐ医療メディア」として 2015 年 3 月に開設され, インターネットを通して信頼できる医療情報の発信を続けてきた。OMO 時代を迎える中で医療メディアに様々な機能群を加えるとともに, 学会・医師会・病院・自治体・官公庁・企業…などと連携を深めていくことによる共創プラットフォームの構築と全ての人が医療に迷わない世界の実現を目指している。

はじめに

株式会社メディカルノート(以下, メディカルノート)は 2021 年 2 月現在も共同で代表を務めている梅田裕真と本稿の筆者である井上 祥が 2014 年 10 月に創業した。創業当時, インターネット上の医療情報はまさに玉石混漚といえる状況であった。創業から半年後の 2015 年 3 月, 「医師と患者をつなぐ医療メディア」メディカルノート(<https://medicalnote.jp/>)が創設された。信頼できる医療情報の発信を通して, すべての人が医療に迷わない世界を作ることを目指してきた。

創業から 6 年以上が経過した 2021 年 2 月現在, 良識ある医師たちの積極的な発信によりインターネット上の医療情報は大きく改善されてきている。メディカルノートも 2,500 名を超える医師の協力を得て, 月間 1,500 万程度のユーザーをもつウェブサイトへと成長を遂げた。学会・医師会・病院・自治体・官公庁・企業…などとの

連携も積極的に行っている。われわれの理念は先述した「医師と患者をつなぐ」である。発信サイドの医療従事者からはメディカルノートであれば安心して情報発信ができる, 受信サイドのユーザーからはメディカルノートの情報であれば信頼できる, と信用を積み重ねた結果こそがこの数字であると自負している。

このように, メディカルノートは発信サイドからも受信サイドからも高い支持を得ながら信頼できる医療情報の発信を続けてきた。創業から 6 年以上が経過した 2021 年 2 月現在では, ユーザーが医療情報を得るだけでなくアクションにつながる世界も目指している。本稿では, これまでメディカルノートの医療メディアとしての成長をご紹介するとともに, これまでさまざまな連携を実現してきた共創プラットフォーム構想について述べさせていただく。最後に, IoMT(Internet of Medical Things)時代に欠かせない OMO(Online Merges with Offline)などの概念も紹介させていただく。